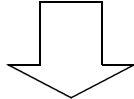


項目番号	8	項目	学習形態の工夫
学校名	熊谷市立男沼小学校		
タイトル	ペア学習を通して、言語活動の充実を図る		

○本校の課題の焦点化

各種学力調査、アンケート調査結果から、



課題を焦点化

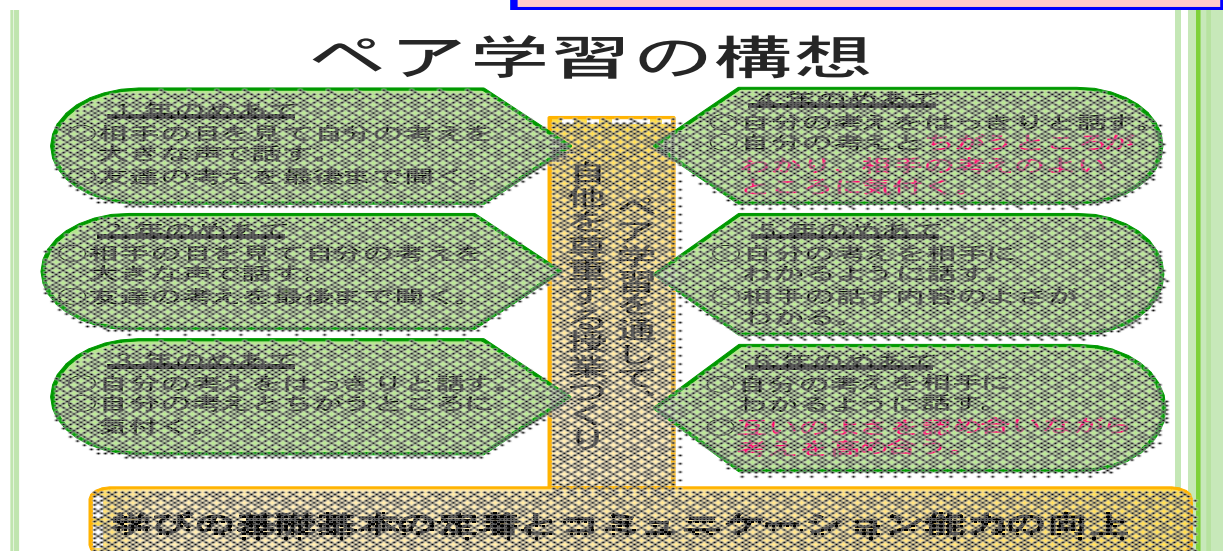


○学年毎のペア学習の構想

コミュニケーション能力の伸長をめざすペア学習

学年毎のペア学習の目当てを明確にして、  
発達の段階に応じた指導を行った。

## ペア学習の構想



○授業の中での取組

ペア学習が効果的な場面を計画的に設定。授業の中に取り入れた。

○授業でペア学習をしたとき、よくわかったと思えるかどうか児童の自己評価した結果をもとに、次のステップを検討する。

○ペア学習は、学習効率の向上のために計画する。

【成果】

発表・発言が得意でない児童は、自分のメモを見ながら2人で話し合うことで、自分の考えや思いを相手に伝えられるようになってきた。また、発表が得意な児童は、話の内容を相手に伝わるよう工夫して話したり、話に強弱や話す速さを考えながら発言できるようになってきた。